

遊文通信

今回の遊文通信は…

- 育児休業法の「改正」を生かすために〈その2〉
- 『Uni-Voice』試してみませんか

育児休業法の「改正」を生かすために〈その2〉

優秀な人材の安定的な雇用めざして

前号において、遊文舎における「育児・介護休業規定」の12年の取組状況を、取得者へのインタビュー形式で振り返りました。今号では、その生の声の続きとともに、今年、3名の育児取得者が重なった年度末繁忙期を、各上長がどう乗り越えたのか、今後の課題は何か、簡単にまとめました。

出席者

石橋清香（東京支店・勤続10年）
藤木真衣（大阪本社・勤続10年）
聞き手：中野瞬（東京支店）

中野 お二人とも2時間弱の通勤で時短となると、仕事への取組みがたいへん濃密というか、シビアになりますね。そのあたりどう工夫されていますか。

藤木 私は、その日の自分の仕事を100%把握するようになりました。子どもの感染症は突然で、今朝ご機嫌で別れたのに出勤してすぐに「発熱しました。お迎えをお願いします」という電話は珍しくな

いです。長男の保育園入園したての夏、アデノウイルスにかかり、まるまる2週間突然仕事を休むことになりました。呼び出されたときは2週間も休むなんて覚悟してないので、自分の仕事をきちんと把握できなくて本当に困りました。長く止まっている仕事の引継ぎを忘れてしまっていて、部署の皆さんベテランで何とかしてくださったんですが、復帰してから申し訳なさがすごかったです。そういうことがあって、自分の仕事をいつでも人に説明できるように整理するようになりました。あと会社の配慮でメイン担

当から外れました。仕事する側としては寂しい部分もありますが、その分をサポートに注力しました。その他にも、営業さんがバラバラにやっていたExcelの管理など業務改善もするようになりました。自分にできることを見出して仕事の質を深めるように努めています。

石橋 自分は時短勤務を選択しているのでも6時間しか仕事ができない、急に保育園から呼び出しがあると帰らないといけない。急に休まないといけない状態が、いつ起こってもおかしくない状態です。子どもが小さければ小さいほど、保育園で

〈今年の繁忙期〉産休・育休取得に対する対応

当該上司	和田 悟志 営業部長	米田 達生 制作マネージャー	秦 孝次 製版デジタルチーフ
① 7月1日時点での産休・育休届出期間と当該部	22/5/21～8/31 営業推進：産休・育休（予定）	22/1/8～23/2/15 WIN組版：産休・育休	22/3/22～7/31 製版：産後パパ育休
② 復帰して長く活躍してほしいと本人に伝えたか	何度か面談をして伝えています。	得難い人材であり、再度確認します。	復帰後は徐々に体を慣らすよう伝えました。
③ 繁忙期の業務負荷をどう乗り越えたか	自部署の社員でカバー	外注・派遣・自部署社員	他部署からの応援
④ 産休・育休を取得しやすい環境づくりと受入れ対策で、重要だと考えていることは？（今年の反省も含めて）	1人は4/15からの復帰が決まっていたし、他の1人は5/21からの産休。数か月前から相談は受けていたので特に慌てる事はなかった。事前にはいかに対策を打てるか、が一番重要ではないかと思っています。	産休・育休に対する会社や従業員の理解度をもっと高めることが必要だと感じています。そのうえで、産休・育休の取得対象でない従業員も含めた従業員満足度の向上がとても大切だと感じています。	取得促進には普段からのコミュニケーションが大切だと思います。また、技術や知識を共有して、メイン業務以外のマルチな対応力を、各人がつけておくことが必要だと感じました。

病気をもらう可能性が高くなるので、「こういうことがあります、こういうことが起きます」と、自分自身にも言い聞かせ、周りの方々にも説明をしました。東京支店で子どもがいるのが当時私だけだったので、理解を得ることから始めました。勤務時間が短くなった分、担当できる仕事を少なくしていただかないといけない。さらに1案件に対しても、いままで一人で完遂できた仕事を誰かに引き継いり一緒に作業をして頂いたり、人に関わって頂くことが増えました。

中野 では続いて、子育てと仕事の両立について伺いたいと思います。大変だと思うところが多いと思いますが、一番悩ましい点をお伺いしたいのですが。

藤木 自分に余裕がないことが悩ましいです。帰ってからもっと家で遊ぶ時間も取ってあげたいしゆっくり絵本読んだりしたいのに、そんなことすると寝かせる時間がどんどん遅くなるので、どうしても「ご飯！お風呂！寝る！」を怒涛の様にこなします。早くしないと…と焦って怒ってしまうこともあって、何のために

働いてるんだ…と自己嫌悪に陥ったりします。朝に夕食の仕込みをして時間が取れるように工夫したりはしていますが…。

石橋 私は食事の支度が苦手で、献立を考えるのが大変です。工夫としては、宅配の生協の簡単なミールキットを使うようになりました。週1回ではありますが、「今日は献立を考えずに済む！」と気が楽です。お弁当も冷食を使って簡単に済ませています。仕事と一緒に、人の力を借りることも大事だと思いました。

藤木 ミールキットいいですね、使おうかな。あとはお母さんモードと会社員モードの切り替えも大事にしています。一人になれるのは通勤時間しかないの、もう思いっきり自分のことしかしません。アプリでマンガ読んだりゲームしたり…通勤1時間なんてあつという間です（笑）

石橋 私も一緒です。通勤時間は、家のことも仕事のことも考えず、本読んだり音楽を聴いたり自分自身の時間にしています。週2回の在宅勤務の日は通勤時間がない分少し余裕をもって仕事を長くできています。週1回は子どもの習い事に時

間を当てたりもしています。

中野 今後、会社にこんな制度があったらいいとか、もうちょっとここ改善したほうがいいんじゃないのかなっていうところとか、お伺いしたいんですけど。

藤木 時短勤務時間に違う枠が欲しいです。今遊文舎は、9時～15時45分か、11時～17時45分っていう2枠なんですけど、9時半や10時から始業の枠があれば、ありがたいです。小学生は8時くらいに家を出ることが多いので、子どもを見送ってから出社できる環境があると続けやすいかなと思います。

中野 それは今年の就業規則改定の対象になってたと思うので、社員総会の発表を楽しみに待ってください。石橋さんは、何かありますか？

石橋 今のところ思いつくものはないですね。

中野 有難うございました。お二人がいきいきと仕事を長く続けられのは、サポートする同部署の社員の励みになります。今後も明るくご健闘ください。

ユニボイス『Uni-Voice』を試してみませんか

色やデザインなどで、「誰にでも利用可能なデザイン」という視点を中心に定義されています。遊文舎でもいち早く勉強会をしたり、デザインに組み込んで提案してきました。今回、遊文舎では、視覚だけではなく聴覚にも対応した『Uni-Voice（ユニボイス）』を導入し、新サービスとして展開していますので、紹介させていただきます。

スマホをかざすだけで読みあげてくれる

印刷物の文字情報を二次元コードに変換した Uni-Voice コードにスマホをかざすだけで、内容を読み上げてくれる iOS・Android 向けアプリです。以前から SP コードと呼ばれる、音声を読み上げる 2 次元コードは流通していますが、それとの主な違いは、読み取りに専用機器が必要ないことです。スマホアプリで読み取るだけで、手軽に格納されている文字を読み上げてくれます。

当社は、地方自治体が発行する冊子など、様々な方に読まれるであろう案件では、この『Uni-Voice（ユニボイス）』を提案させていただき、実績も積んできました。目の不自由な方、お年寄りへの音声通知だけでなく、多言語対応にも活用いただけます。ねんきん定期便、マイナンバー通知カードといった通知物から、観光地での多言語対応（20 言語対応）まで、様々な場面で活躍しています。直近だと記憶に新しい、東京 2020 オリンピック、パラリンピックでも大活躍だったようです。

すべての事を当たり前と思わず、「情報のユニバーサルデザイン」を目指して今後も遊文舎の作った印刷物が平等に皆様のお役に立てるようなサービス提供に取り組んでいきたいと思います！興味ある方はどうぞお気軽に、担当営業までお声がけください。

2000 年初期から UD（ユニバーサルデザイン）なる言葉を聞く機会が増えてきました。UD とは

サンプルの読み取りはこちら



Multilingual JPN/ENG/CHU/KOR



■編集後記

前号から引き続き、遊文舎の「育児休業法」への取組を紹介しました。実際に取得した側の目線だけでなく、直属の上司の視点からの課題も簡単にまとめました。会社全体で取り組まなければ形にならないことだと改めて実感しました。遊文舎での「働き方改革」における取り組みを少しでも分かっていただけると幸いです。

■今月の紙

紙：白老 K
四六判 70kg